

アフターサービス

- **JOIFA 609** は、資源のリサイクル、廃棄物問題に関するメーカーの社会的責任を明確にするために、JOIFA（社団法人日本オフィス家具協会）に登録してある当社の番号です。
- 廃棄される時は、専門業者にお任せ下さい。
焼却すると、有毒ガスが発生することがあります。
- その他、商品に関するお問い合わせは購入先へご相談下さい。



この製品を譲渡される場合は、この説明書を必ず添付してお渡し下さい。

(製造元) **生興株式会社**

T 578-0944 東京都中央区新富町4丁目8-25

お客様相談窓口 ☎ (06) 6263-4577

R100

REPAIR INSTRUCTIONS

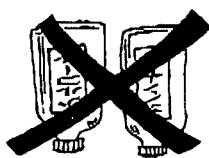
04.01・2000

- 保証期間内であっても、次の場合は有料になります。

① 保証期間	② 対象品	③ 保証対象外の例
1年保証	外装・設置・引き出し・天板・脚	天板・脚・天板・脚の交換、天板・脚の交換、天板・脚の交換
2年保証	天板・脚・天板・脚の交換、天板・脚の交換、天板・脚の交換	天板・脚・天板・脚の交換、天板・脚の交換、天板・脚の交換
3年保証	天板・脚・天板・脚の交換、天板・脚の交換、天板・脚の交換	天板・脚・天板・脚の交換、天板・脚の交換、天板・脚の交換
- ① 火災・天災による故障及び破損。
- ② 改造または誤った修理による故障及び破損。
- ③ ご使用者の誤った使用方法による故障及び破損。

● 保証期間 お客様購入の日から下記の年数とさせていただきます。
 ● 保証期間 引上げ販売店までご連絡ください。
 ご使用の製品が故障又は破損した際には、下記の保証期間をご参照の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

保証について



- 汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を柔らかい布に浸し拭き取ってください。その後、きれいな水で洗った布を固く絞って洗剤分を拭き取ってください。
- アルコール類やシンナー系溶剤は、使用しないでください。
- 表面を傷めることがあります。

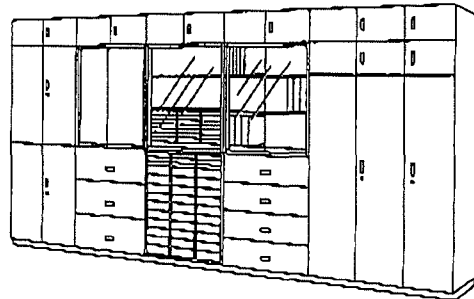
お手入れ方法

0-4582-01~04
0-4137-11

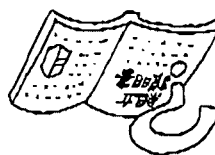
取扱説明書

保存用

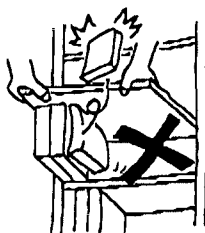
〈壁面収納家具〉



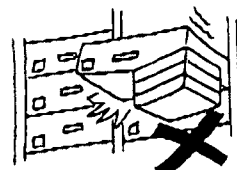
このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
 この取扱説明書は壁面収納家具に共通です。
 安全にご使用いただくためにこの説明書をよくお読み下さい。
 なお、この説明書は大切に保管しご活用下さい。



- 5. その他
 - 設置・組立は、別紙「組立説明書」をお読み下さい。
 - その他不明な点があれば、購入先へご相談下さい。



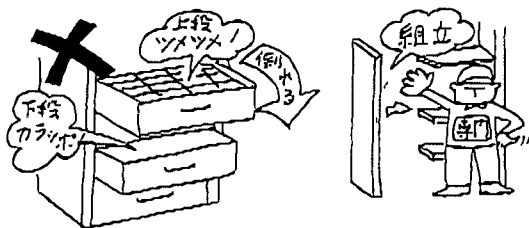
- 4. 棚板のセット
 - 棚板は4個の棚受けの同一の高さになるようセットして下さい。
 - 棚板の高さ変更をする場合は、収納物を取り除いてから行って下さい。
 - けがをすることがあります。



- 3. ドラスツクケース（クハスツクケース）
 - ケースを抜く時は、最大まで引き出した所で斜め上に引き抜いて下さい。
 - ケースは静かに出し入れして下さい。
 - 破損に行いますとケースが破損したりすることがあります。
 - ケースを引き出した状態で収納物を以外に物に当たらないで下さい。
 - 破損する原因になります。

安全上のご注意

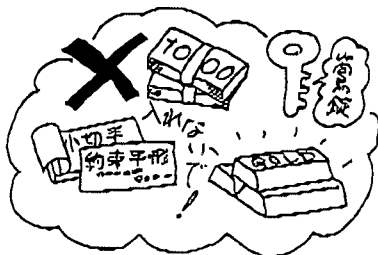
警告	
この注意事項を守らなければ、死亡又は重傷などを負う可能性があります。	
	●上下連結、左右連結を確認して下さい。 引出し開閉時に倒れてきてけがをすることがあります。
	●引出しは、上段にだけ収納しないで下さい。 引き出した時に倒れてきてけがをすることがあります。
	●引出しは、1段づつ引き出して下さい。 複数の引出しを同時に引き出すと、倒れてきてけがをすることがあります。
	●引出しは、手前側にだけ収納しないで下さい。 引き出した時に倒れてきてけがをすることがあります。
	●指定以外の積み重ねをしないで下さい。 倒れてきてけがをすることがあります。
	●分解、組立、移動は専門業者にお任せ下さい。 転倒などの事故になることがあります。
	●廃棄する時は、専門業者にお任せ下さい。 焼却すると有毒ガスが発生することがあります。
	●ラテラル（引出し）は最下段のみにご使用下さい。 倒れてきてけがをすることがあります。
	●安全保安部品をはずして使わないで下さい。 事故によってけがをすることがあります。



注意	
この注意事項を守らなければ、傷害を負うか又は物的傷害が生じる可能性があります。	
	●可動部のすきまに手をいれないで下さい。 けがをすることがあります。
	●開閉部に手をつけたまま操作しないで下さい。 手をはさんでけがをすることがあります。
	●簡易施錠のため、貴重品は入れないで下さい。 工具などを用いた破壊には耐えられません。
	●耐荷重以上に収納しないで下さい。 棚板・引出しが落下してけがをすることがあります。 (耐荷重の値は次項の表)
	●上段を開いたまま下段の作業をしないで下さい。 立ち上がった時に上段に当たり、けがをすることがあります。
	●棚板に座らないで下さい。 棚板がはがれてけがをすることがあります。
	●火のそばに近づけて使わないで下さい。 火災になることがあります。
	●危険物（爆発物、薬品、生き物など）を収納しないで下さい。 人体や衣服などを傷つけることがあります。
	●ボルトやネジがゆるんだまま使わないで下さい。 本体が壊れてけがをすることがあります。
	●本体や引出しの上に座らないで下さい。 転倒してけがをすることがあります。
	●異常を発見したままでは使わないで下さい。 本体が壊れてけがをすることがあります。
	●用途以外で使わないで下さい。 けがをすることがあります。
	●引き出した引出しに手などで力を加えないで下さい。 倒れてけがをすることがあります。

使用上のご注意

	●分解や改造をしないで下さい。 破損やけがをすることがあります。
	●コンセント付の機種はコンセントに水をかけないで下さい。 電気ショートによって発火することがあります。
	●コンセントに異物やゴミが入らないようにして下さい。 電気ショートによって発火することがあります。



1. 錠前操作

（開き錠）

●キーを右に1回転すれば施錠され、左に1回転すれば開錠されます。

（引戸扉）

●キーを左に1回転すれば施錠され、右に1回転すれば開錠されます。

（引出し）

●キーを右に180°回転すると引出しの全てが施錠され、左に180°回転すると開錠されます。

注意

●キーを差し込んだままの状態にしないで下さい。
けがや衣服の損傷の原因になります。



2. 扉、引出しの開閉

（雑誌架）

●開く時は扉の中央を持ちスイングして水平まで持ち上げ、本体内部まで完全に押し込んで下さい。

閉める時は逆の操作を行って下さい。

（開き扉、引出し）

●引手内のラッチレバーを持って手前に引いて下さい。ラッチが開除されて開きます。

注意

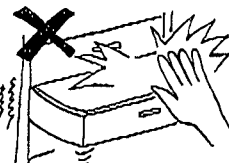
●雑誌架の扉を水平以上に持ち上げないで下さい。

無理がかかり破損の原因になります。

●開き扉、引出しを開める時はラッチのかかりを確認して下さい。
外れていると、振動等で開いてくる場合があります。

●ぐむを得ず引出しを本体からはずす場合は、収納物をすべてそとに出してから行って下さい。けがをすることがあります。

●扉、引出しの開閉は静かに行なって下さい。
引き出した時に横方向から力を加えたり
乱暴に扱うと破損によるけがの原因になります。

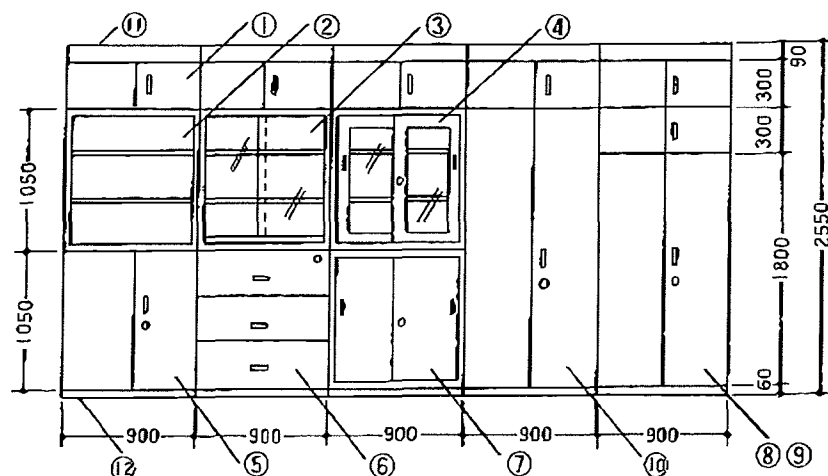


耐荷重（棚板・引出し底面に均等にのせた場合）				
品 種		品 種		耐荷重 (kg)
奥 行	巾	奥 行	巾	種 別
D500	W800用	D500	W900用	4段
	W600用		3段	25
	W450用		2段	60
D450	W900用	D450	W900用	4段
	W800用		3段	25
	W600用		2段	60
D400	W900用	D400	W900用	3段
	W800用		2段	50
	W450用		1段	40
雑誌架棚		両面扉引出し		60
		A4 浅型		1
		A4 深型		2
		B4 浅型		2
		B4 深型		3
		D4 超深型		5

※荷重が1カ所に集中しないよう均等にのせて下さい。

壁面ユニット組立説明書

◎組立完成図



No	種 類	No	種 類
1	両開保管庫 上置型	7	引違い保管庫スチール戸 1050型
2	オープン型保管庫 1050型	8	両開保管庫 1800型
3	引違い保管庫総ガラス戸 1050型	9	多人数用ロッカー 1800型
4	引違い保管庫総付ガラス戸 1050型	10	両開保管庫 2400型
5	両開保管庫 1050型	11	笠木
6	ラテラルキャビネット 1050型	12	ベース (巾木)

◎組立部品

アンカーボルト		2ヶ(巾木に同梱)
中間連結金具	M6×60	2ヶ(2100・1800型 両開保管庫)
丸ナット付なべ頭ボルト	M6×50	2ヶ(巾木に同梱)
連結ボルト、ナット	M6×8	6 ヶ
プラスチックカバーA	16φ用	10 ヶ
プラスチックカバーB	8φ用	14 ヶ

※上置型の個数は多少異なる

◎収納家具取扱い上のご注意

- ① 乱暴な取扱いや用途以外の使用は、避けて下さい。
- ② 使用中にボルトやネジのゆるみによるガタツキが生じた時は、増締めして頂くのが長持ちさせる秘けつです。必ず早めの増締めをして下さい。
- ③ 直射日光や熱を避けて下さい。
- ④ 汚れが著しい場合は薄めの中性洗剤、または石油ベンジンで拭き取って下さい。シンナーを使用すると白っぽくなる場合があります。
- ⑤ 使用上のお願いと致しまして、この説明書は保管して下さい。

I ベースの設置

- ① 設置する所定の場所にベース(巾木)を並べ位置を決めます。
(前後の確認をして下さい。)
- ② アジャスターB(角型)のベース固定穴の位置を床面にけがきマークをつけます。
- ③ ベース外枠をはずし、マークした位置にアンカーボルト打込み穴(6.3φ~6.5φ)をあけ、アンカーボルトの打込みをします。
- ④ ベース外枠を置き、ナットでアジャスターB(角型)を固定します。
- ⑤ 高さ調整を行います。(前後左右方向の水平と隣合せのベースの高さをレベル等を見ながら
④ドライバーにてアジャスターを調整して水平を出します。)
- ⑥ 両開2100・1800型を設置する場合には中間連結金具を固定して下さい。

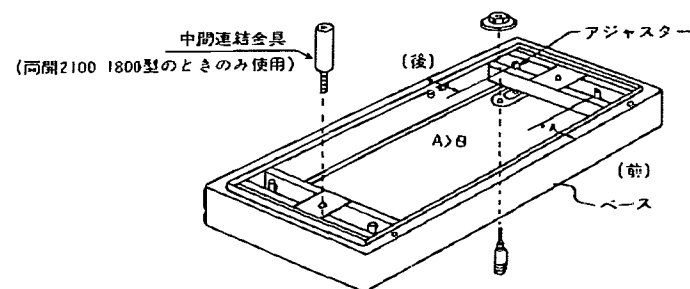
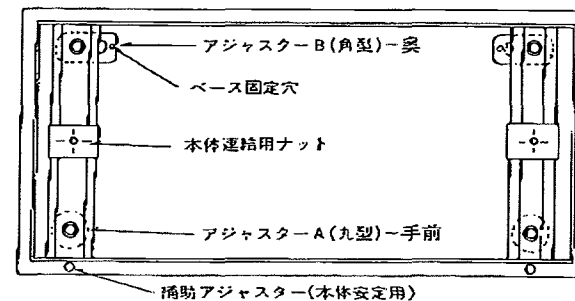


図1 ベースの設置

II ベースと本体の固定

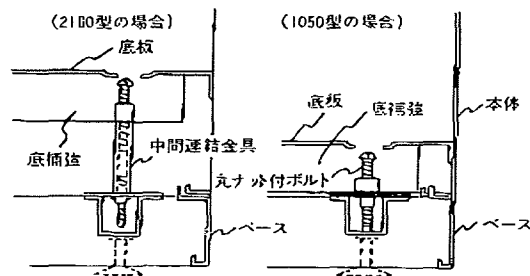
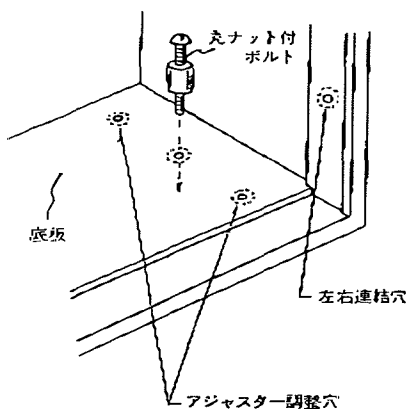


図2 ベースと本体の固定

- ①本体のどれをどの位置に設置するかをきめます。そのとき横連結する必要がない両端に設置する本体の側板には、連結穴(図3)にプラスチックカバーBを外側から押し込んでおきます。また、キャビネットは引出しを取りはずしておきます。
- ②本体をベースの上にのせ、本体の前面がベースの前面より約20mm前になるようにして下さい。
- ③丸ナット付ボルト(M6×50)を使ってベースと本体を連結して下さい(左右2ヶ所、④ドライバー使用)

III 上段本体の設置、連結

- ①本体を下段本体の上にのせ、上下本体の面(前後左右)が合うようにして下さい。
- ②下段本体天板の内側よりフランジ付ボルト(M6×8)を使って上段本体を連結します(左右2ヶ所、④ドライバー使用図3)

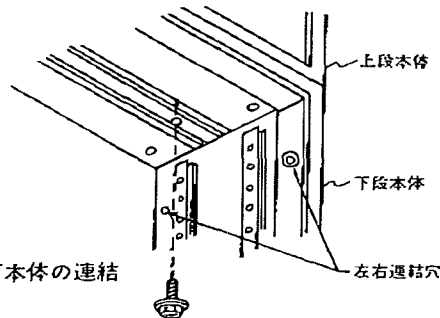


図3 上下本体の連結

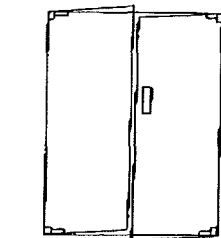


図4 扉のチリが合わない

- ③上置型本体を設置連結する場合も上記の要領で行って下さい。
- ④隣に設置する本体についても上記要領で上下連結をして下さい。
- ⑤上下本体の扉や引出しのチリが合わない場合は、レベルの微調整をして直して下さい。(図2のアジャスター調整穴に④ドライバーを差し込んで行う。)同時に引出しの調子、扉の開閉具合も確認して下さい。ただし、左右隣の本体とのバランスも考えて、調整のやり過ぎに注意して下さい。

IV 本体の横連結

- ①本体側板にある連結穴(図2、図3)を使ってフランジ付ボルト(M6×8)、フランジ付ナットで連結します。(連結穴4ヶ所。ただし上置型は2ヶ所)
注意・マグネット付④ドライバー、ボックス(M6・対角10mm)があれば作業に便利です。
- ②横連結して行くとき、左右上下の隙間の通りが出るよう、また各本体の前面が合うように注意し、必要があればレベルの再調整も行して下さい。

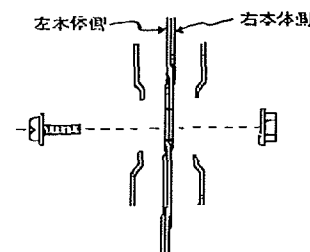


図5 横連結

V 笠木の設置

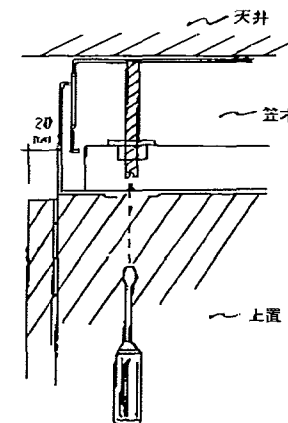
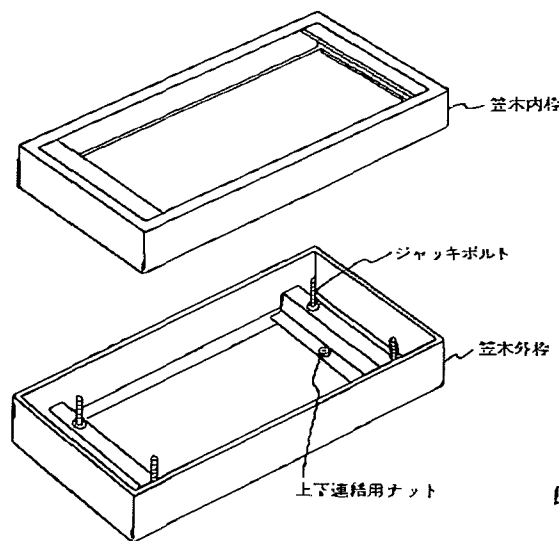


図6 笠木の設置

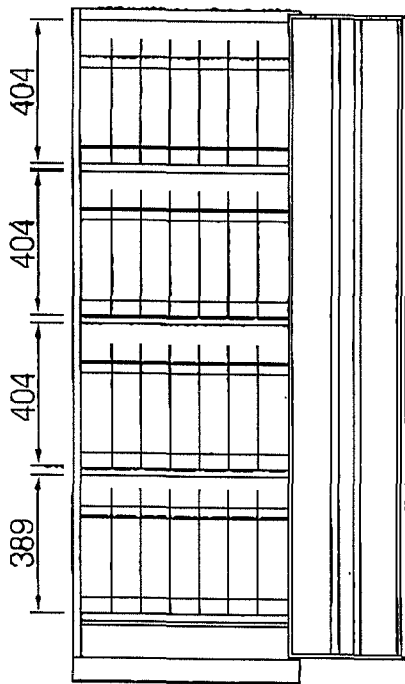
- ①笠木を内枠、外枠組み合わせたままの状態では本体の上にのせ、笠木の前面が本体の前面より約20mm後に下がった状態にして下さい。
- ②図3の要領で上置型・本体・天板の内側より、フランジ付ボルト(M6×8)を使って笠木を連結します。
- ③上置型・本体・天板の内側より、④ドライバーでジャッキボルトを回して笠木内枠を天井まで押し上げます。(調整中約20mm。それ以上場合は別売で調整ボルトを用意してあります。)

VI カバー取り付け

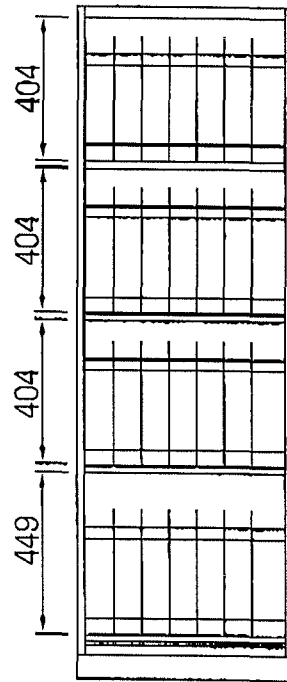
- ①本体内側の連結穴、アジャスター調整穴(図2、図3)等をプラスチックカバーAでふさぎます。
- ②穴は開け手前左右の4ヶ所、底板6ヶ所の計10ヶ所あります。

レントゲンフィルム棚 取付方法

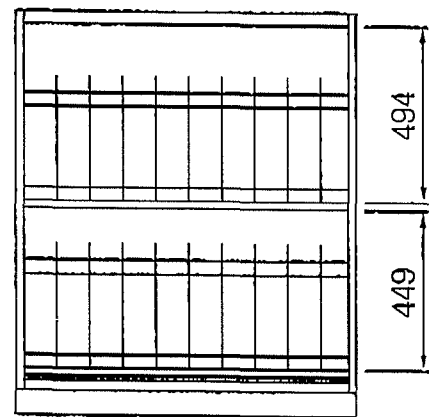
・製品の略図



(FG5-18HR60)
(18H60)

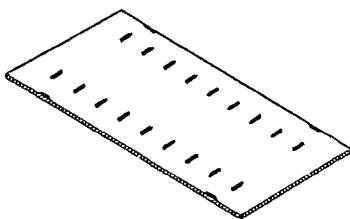


(FG5-18KR60)
(18K60)
(FG5-18KR)

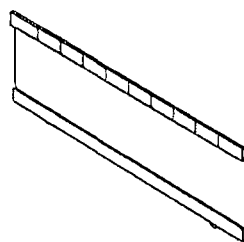


(FG5-10KR)
(10R)

・部品名称



(棚板)



(仕切取付板)



(仕切板)

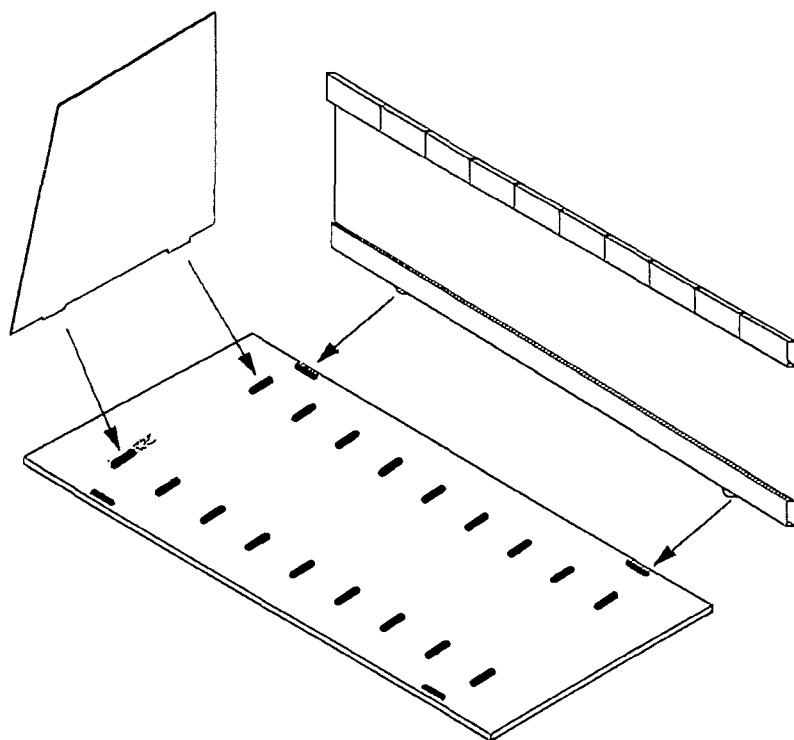


図1 取付図

1. 棚板の取付け

- ・ 本体に付属している棚板は取り除いてください。
- ・ 製品の略図を参考に、底板及び各位置に棚板をセットしてください。
(丸穴の間隔は30mmです)

2. 仕切取付板の取付け

- ・ 上図のように、セットした棚板の角穴（奥の2ヶ所）に取付板を差込んでください。
- ・ 本体の裏板に貼り付けてください。（仕切取付板の裏面にはマグネットが貼り付けてあります）

3. 仕切板の取付け

- ・ 棚板及び仕切取付板に差込んでください。